

徳島空港

【実施主体:個社】

徳島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	賃上げを含む処遇改善のために不可欠な受託料の引き上げ	委託先との契約金額の見直し	処遇改善含む賃上げ等、委託先社員の還元を前提として、委託先との契約金額に値上げを反映し実施済み。(継続)	
		総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の引き上げを実施。R7年度契約料の見直し検討に着手。	
		検査会社への委託料の見直し	本社にて、国内定期航空保安協議会を通じて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料金の引き上げを実施。R7年度契約料の引き上げを実施するとともに処遇改善状況を確認。	
		外航受託料の引き上げ	本社にて、外航受託料の引き上げ交渉を実施。	
【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化(キャンセル料の設定等)	委託先の人材確保を下支えするための契約条項追加	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋がられるような契約条項について、順次、追加設定を進めている。(継続)	
		検査会社への委託契約条件の設定	本社にて、検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。検査場のレーン数に応じ総括責任者の配置も支払い対象化。	
		外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項やキャンセル料条項の導入を検討・実施中。	
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	
【短期】	職員の負担の集中を回避するための正確な現状把握	委託先社員数や労働時間の定点的な情報収集	委託先社員の負担を含め、定量的に把握し改善に繋がっていくため、配員バランスや採用状況、労働時間の定点的な情報収集を実施。負担の集中が見られる場合には適切な対応を図っている。(継続)	
		生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	
【短期】	適切な業務量調整による高負荷の抑制			

【実施主体:個社】

徳島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	採用活動の推進(グラハン経験者採用の強化(Uターン・Iターンの活用)等)	採用情報の広範囲での広報活動	ANAグループHPの採用情報に地区総代理店の採用情報(職種別)を掲載し無償で広い範囲で採用広報をサポート	
		総代理店合同企業説明会の実施	総代理店各社と人財課題についての意見交換を実施し、オンラインでの合同企業説明会を実施。	
【短期】	教育期間の短縮に向けた工夫(実践技術に特化した訓練等)	ANA/JALランプ作業資格の相互承認	1社でANA/JAL双方をハンドリングしている10空港を対象に、作業資格の相互認証ならびに同種教育(航空保安・飲酒対策・落下物防止対策)の共通化施策を検討中。 相互承認を行う対象資格を7つ(TT,BL,PBB,MAS,WW,PK,PB)に絞り、具体的な承認フローを検討中。1月30日～2月2日に対象10空港への説明会を実施し、意見を集約。R6年4月から運用開始。R6年12月にJAC、HACとの相互承認拡充。R7年4月からの対象資格の更なる拡充を検討中。	① 訓練時間の削減:各資格に対する座学時間および実技時間が削減できる。(インストラクター、訓練生ともに) ② 訓練期間の短縮:P/Bは実技訓練機会が限られるため訓練期間が現状1年程度かかるが、大幅に短縮できる。
【短期】	需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入			
【中期】	長期に誇りをもって勤められるキャリアパスの整備			
【中期】	ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	施設・設備の改善	休憩室、更衣室、通信環境等の現状調査、および改善を実施。IT環境の整備、暑さ対策等を順次実施。	
		カスタマーハラスメント対策の推進	ANAグループとJALグループ共同で「カスタマーハラスメントに対する方針」を策定。	
【中期】	特定技能制度の積極的な活用			

【実施主体: 個社】

徳島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【長期】	短時間労働やマルチタスク化を含む多様な働き方の実現			
【長期】	業務内容や技術に応じた賃金の設定			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現	自治体や空港ビルとの連携	保安検査、給油、CIQなどの当社受託領域以外の調整状況についても必要に応じ確認しつつ受託準備を実施。	
【長期】	人件費圧縮競争を防止する観点からの多重委託構造や雇用慣行・契約慣行の見直し(保安検査における長い拘束時間の見直し 等)	特定業務に対する委託費構造改革	二次委託の多い特定業務に対する委託費構造改革に着手。	

【実施主体:空港会社等】

徳島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	空港内の労働環境の改善	手当支給	早朝勤務に対する手当を新たに支給。	
		多言語翻訳自動音声案内の導入	案内所業務において多言語翻訳自動音声案内機器を導入することにより業務の負荷軽減。また、採用にあたり応募者の多言語資格を要するか不安解消。	
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動(空港短期の合同ツ説明会 等)			
【短期】	マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】	空港WGの活動推進			
【中期】	GSE車両の共有化・共用化の推進			
【中期】	男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進(「旅客は女性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備 等)			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	スマートレーン等の先進機器の導入			

【実施主体:空港会社等】

徳島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【長期】	サプライチェーン等を意識した効率的な設備配置に向けた調整			

【実施主体:地方自治体】

徳島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーションの強化(人員体制等の正確な現状把握 等)	人員体制等についてのヒアリング	地元グラハン会社に対して人員体制等についてヒアリングを実施し、正確な状況把握を行った。	地元グラハン会社の課題とニーズの把握
【短期】	空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施			
【短期】	空港業務支援も誘致支援の一部と位置づけた上での関係部局(観光、産業振興 等)と連携した支援の実施	台湾チャーター便の利用客に対する歓迎	令和5年11月～12月に就航した台湾スターラックス航空によるチャーター便の利用者に対し、関係部局と連携したおもてなしを実施した。	チャーター便利用者の満足度向上
【短期】	空港業務支援も誘致支援の一部と位置づけた上での関係部局(観光、産業振興 等)と連携した支援の実施	包括連携協定に基づく国内航空会社各社とのミーティング	国内航空会社各社と徳島県関係部局との協議の場を設け、官民連携可能な業務について、検討した。	更なる空港の利用促進
【短期】	空港WGの活用推進			
【中期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討(空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援 等)			
【中期】	特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	持続可能な観点からの戦略的な路線誘致(交通部局と観光部局との緊密な連携)	空港からの二次交通対策	交通部局と連携し、地元バス会社と二次交通対策について検討し、国際定期便に接続する空港リムジンバスの運行を開始した。	二次交通の充実

【実施主体:地方自治体】

徳島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【長期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の充実			

【実施主体:国】

徳島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	各空港におけるベストプラクティスの横展開(事例収集・整理 等)	各地の空港におけるベストプラクティスの情報提供	各団体が、空港業務を持続可能なものにしていくための取組を検討・実施する際に、参考とするため、航空局HPにて公表された20事例を空港WGを通して情報提供。	
【短期】	地域の意欲的な取組への積極的な協力(空港説明会への参画等)	各地方自治体を実施する空港業務の持続的発展に資する取組事例について、県へ情報提供	各地方自治体を実施する空港業務の持続的発展に資する補助事業等について、県へ情報提供	
【短期】	生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援(先進機器の整備補助 等)	地方空港等受入環境整備事業費補助金	R4補正補助金の活用に向けた積極的な周知・取り纏め等。	
【短期】	各主体による取組の重要性の発信	ありがとうポスターの周知・掲示	ポスターの作成意図等について職員へ周知を行うとともに、庁舎内の来客の目に触れる場所へ掲示	
【短期】	空港WGの活用推進	国が公募している補助金制度を徳島空港WGへ情報提供	国が公募している補助金事業の概要について空港WGの関係事業者へ情報提供を実施。	
【中期】	空港DXの導入促進に向けた実証実験			
【中期】	更なる支援措置等の検討(人材確保・育成、業務効率化、GX/DX 等)	地方空港等受入環境整備事業費補助金制度の活用推進	空港WGにおいて、航空・空港関係者の人材確保・育成等、生産性向上に資する取組や国際線の受入環境高度化の推進に係る補助事業の活用について検討を行った。	
【長期】	先進技術等の開発・実証、更なる活用の推進			
【長期】	業界ルール整備を前提とした、専門学校との連携強化や共同訓練の推進			

【実施主体:国】

徳島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【長期】	処遇改善・業務効率化等に必要な保安関係料金の適正水準のあり方の検討	関係機関への情報共有	持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会の開催結果について、航空局HPへ公表された情報をもとに空港WG内へ共有を行った。	
【長期】	必要に応じた制度的見直し			
【長期】	空港に関する基礎的データの収集・整理(職員数、年齢構成、年代別年収、離職率 等)	基礎的データの収集に係る協力	航空局からの依頼に基づき、関係機関へデータ収集に関する協力依頼や問い合わせへの対応等を行った。	